

## 越後妻有防災フェスタに参加しました！ ～松之山学園児童約90名が土石流体感3Dシアターを体験～

- ・**土砂災害防止月間**中である6月30日(土)松之山学園(十日町市松之山1162-3)において「越後妻有防災フェスタ」が開催されました。  
(湯沢砂防事務所は、土砂災害に対する防災意識の向上、啓蒙活動をおこなうために、管内のいたる所で防災に関するイベント、訓練に精力的に取り組んでいます。)
- ・本イベントは、主に地元の方や松之山学園児童、その保護者、教職員を対象に授業プログラムや体験プログラム(土石流体感3Dシアター、土石流模型によるメカニズムと砂防堰堤の目的把握、起震車体験、水消火器を用いた実践的消火活動、車椅子・担架体験、濃煙体験)を通して、防災意識の向上を図ることを目的に、十日町青年会議所が毎年開催しています。
- ・この豊富な体験プログラムの中で、湯沢砂防事務所は、今回土石流体感3Dシアター、土石流ミニ模型を担当しました。その結果を、ご報告させていただきます。
- ・「土石流体感3Dシアター」では、土石流発生の前兆現象や早期避難の大切さを理解して頂くため、3Dシアターの立体的な映像やガタゴトと揺れる椅子で土石流災害の恐ろしさについて疑似体験するものです。その体験で、土砂災害の引き起こす災害の恐ろしさを感じていただきました。
- ・また、シアター横では湯沢砂防スペシャルエンジニア(Y SSE)の本臼さん、上原さんが土石流模型を使い、砂防堰堤の効果、その重要性を説明しました。
- ・平成30年7月豪雨でも、多くの方が土砂災害にて被害を受けています。湯沢砂防事務所では、その被害をソフト対策(速やかな避難等)やハード対策(砂防堰堤等)の両面から、少しでも軽減をはかりたいと考えています。

### 土石流体感3Dシアター体験状況



### 土石流ミニ模型実験状況



### 土砂災害防止月間とは！？

- ・地球温暖化に伴う気候変動により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年より6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止のために全国統一防災訓練や全国の集いなどさまざまな取り組みを実施しています。
- ・**湯沢砂防事務所独自の取り組み**としては、各所で横断幕の設置、ポスター、パネルの展示、ラジオ放送による土砂災害に対する防災意識の啓蒙活動を行っています。